

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

祝100周年
オールザッツ
京阪電車

中之島

Vol.26 2010 9/1

●iPadと(ほぼ)同じサイズ!



ナカノシマ大学1周年記念!

釈 徹宗

新シリーズ

「大阪の歴史をやり直す」

申し込み受付中!

おけいはん島民の「だから好き、京阪」。

通勤・通学・レジャーなど、島民たちの生活に欠かせない京阪電車。実際に乗っている人たちに「だから好き」の理由を聞いてみた。
取材文／大迫力(本誌)

千林く淀屋橋

大阪大学医学部教授
仲野 徹さん



京阪と言えば
やっぱりひらパーと
テレビカーでしょう。

●通学

実家が千林なので、出かける時はほとんど京阪電車でした。大手前高校時代は天満橋駅から歩いて通ってました。阪大の医学部時代は淀屋橋駅で下りて、堂島川沿いの遊歩道を歩いてました。

●ひらかたパーク

幼稚園の遠足で初めて行って以来、年に2〜3回は行っています。親に連れられて行ったり、合ハイしたり、どれだけお世話

森小路く渡辺橋

クエストルーム雑誌編集アシスタント
太田麻夏さん



遊ぶなら
「京橋集合で」が
合言葉です。

●生活必需電車

実家は森小路駅から走って3分。小・中学校は森小路、高校は京橋、大学は深草、今年入った会社は渡辺橋と、通勤・通学はずーっと京阪です。中之島線が開通した時はまだ大学生で、「便利になるね」なんて家族と話していたんですが、まさか通勤でも使うようになるとは思いませんでした。

●おでかけ

芋掘り、初詣、釣り：双子の

寝屋川市く大江橋

「黒門さかゑ」
岡野真由美さん



ちよつとずつ
都会になって
いくのが嬉しかった。

●寝屋川市駅との縁

生まれは大阪市内です。その後、家族で萱島に引っ越してから、また市内で10年ほど1人暮らしして、結婚・出産をきっかけに20年前に寝屋川に戻りました。やっぱり親戚や家族がいて、親近感があったので。

●変わる駅

最初は普通だけしか停まらなかった駅に、どんどん停まる電車がが増えて、駅前も整備されて……ちよつとずつ都会になってい

香里園く渡辺橋

電通テック関西支社
林 和範さん



つい最近、
おけいはんに
なりました！

●決め手は駅前

3月に東京から転勤になり、香里園に引っ越して半年。僕は奈良出身で、大学は兵庫県だったので、今まで京阪沿線には縁が無かったんです。ただ、いくつかある候補の中から、妻が香里園の駅前をすごく気に入ったんです。駅の西側は新しいスーパーがある中で、少し歩けば昔ながらの商店街もあり、新旧入り混じった良さがある。東側にできた「香里園かほりまち」には関西医大病院も入っていて、

鉄道好きから見た 京阪電車 「愛される理由」。

文／黒田一樹

最新の3000系や、特急車8000系はもとより、緑色の通勤車に至るまで、一見何の変哲もなくとも、川向こうの鉄道に太刀打ちするには快適性や乗り心地を良くせなアカンと、さりげなく凄い工夫が凝らされているのが京阪電車です。「進取の気性、技術の京阪」は伊達じゃありません。

たとえばカーブの多い路線で乗り心地を追求して50種類以上もある台車を使ってきたんですよ。今もモーターの有無でこんなに台車が違う電車ってちょっとない。

また5ドアの5000系は、ラッシュ時以外は2ドアを締め切り上から座席が降りてくることで有名ですが、扉脇の跳ね上げ式吊り革や、フリーストップの日よけ、天井でぐるぐる回る社章入りのファンなど、乗客志向のいちびった工夫がてんこもり。あ、誉めてるんですよ念のため。

私の住む関東では少なくなりましたが、足回りを更新したら今度は車体を載せ替えるなど、電車を長持ちさせるのも京阪の得意技。今も正面左側の2段窓や、ホンマモンの網棚が残るノスタルジックな2600系はその象徴です。石山坂本線にはルーツが開業当時にさかのぼる車両さえあるんですよ。

色をはじめ車両もずいぶん変わってきましたが、どこかマニアックで、年期とともに滋味が増す「京阪電車らしさ」は失わずにいて欲しいですね。



くらだ いっき
東京在住。本業は中小企業診断士だが、実態は世界149都市中67都市で地下鉄に乗ったり、TVチャンピオンで準優勝したり、電車を保存したりと、経営コンサルタントらしからぬ無茶＆馬鹿馬鹿しさを愛する「乗り鉄」。

●時代を映す車両
好きな車両はテレビカーに100票！ 京大で助手をやっていた頃は、いつも出町柳まで乗っていました。一度、日本シリーズのヤクルト対阪急戦の継をやっていた、みんな見たいからすごく混んでたんですけど、当時の上田監督がホームランの判定をめぐってずーっと抗議してるんです。あれはがっかりしたなあ。ワンセグなどなかった時代ですから、何はなくともテレビでした。晩年には公衆電話も設置されていたから、「今から帰るわ」と電話してました。そういうのも時代ですね。

●合言葉
いつもの買いものは千林商店街でしたが、たくさん買いものをする時は京橋のダイエーだったんです。そのせいか、とにかく「遊びに行く」といえば京橋大きくなってからも一日遊んだり、一旦京橋で集まってから難波や梅田に行くのが基本だったんです。だから、今も地元の友だちと会うときは「とりあえず京橋集合で！」というのが合言葉ですね。

●車窓の桜
京阪電車の車窓風景で好きなのは、京橋〜天満橋間の景色。春になったら桜が見えるでしょ。若い頃はなんとも思っていなかったのに、今は必死になって見ようとしてしまう。年を重ねるにつれて季節の移ろいみたいなものに対する感慨が深くなってきたんですね。

●これからの楽しみ
電車や沿線は知らないことばかり。でもKUZUHAMA MALLとひらかたパークは行きましたよ。坂本龍馬のゆかりの地巡りもしたい。まだまだ降りたことのない駅ばかりなので、これから散策したいと思っています。

になったか分かりません。結婚して子供ができてからもやっばり行くんですね。もう体が覚えているというか、ふと行きたくなるんです。

姉と一緒に電車の中ではしゃいでよく怒られました。大きくなって母から聞いたところ、ぜんぶ京阪電車のことだったそうです。ぜんぜん意識していなかったのですが、「え、あれも京阪？」と驚きました。それぐらい、電車に乗る＝京阪というのが当たり前だったんですね。

今後どんどん便利になるだろうという期待もありました。

●住んでみて

娘が成田山不動尊の前にある幼稚園に通っているんですが、運動場が広いんですよ。大阪市内ではなかなかそうもいかないの、貴重な環境ですよ。公園も多く、緑が多いことにも気づきました。買いものも便利で、商店街がいくつもあるの、まだ全部回りきれないぐらいです。

京

阪電車100年の歴史は、ほぼ半世紀を境に2つの時代に分かれる。「前半は1963年（昭和38）の淀屋橋延伸、つまり、会社としても鉄道としても今の骨格が固まるまで。後半は沿線のさらなる開発と多角化の時代です」と、100周年担当の中野雅史さん。とりわけ、関西の私鉄黎明期に当たる初期の20年ほどは、戦国大名の国盗り合戦さながらに領土と覇権を争う時代だった。

大阪の天満橋から京都の五条まで46・57kmを100分で結ぶ一番列車が走ったのは1910年（明治43）。沿線はお祝いムードに沸いたが、会社は一つの未練を残していた。当初思い描いた大阪側の起点は、商都の中心である北浜や船場に近い「高麗橋東詰」。それが大阪市の反対に遭い、計画変更を強いられたのだ。「市内中心部の交通は市営で」という大阪市のいわゆる「市営モノロー主義」に、京阪はじめ私鉄各社は後々まで泣かされる。

それでも、大正から昭和初期にかけて京阪は怒濤の拡大路線を歩む（下記年表参照）。現在の阪急千里線・京都線はもとと子会社の新京阪鉄道が買取・建設したものだし、滋賀進出の余勢を駆って一時は名古屋への延伸計画もあった。「天津の膳所から三重県を経て名古屋に至る計画でした。世界恐慌で頓挫したんですが」と中野さん。

【鉄路拡張】

1906年（明治39）に設立された「京阪電気鉄道株式会社」の使命は、何より大阪（京都間の輸送力強化だった。このため淀川東岸を走る本線に加え、さらに淀川西岸線を構想。既に一部路線を持っていた北大阪電気鉄道を買収すると、新会社の新京阪鉄道を設立し、1928年（昭和3）に天神

橋（西院間）を結ぶ。しかし1943年、国策により阪急と合併。6年後に分離する際、新京阪線を残したまま独立するが、やがて大阪都心乗り入れを果たし安定軌道に入る。そして2008年、長らく鉄道空白地帯だった中之島に新線を開通。「水都」大阪から「古都」京都を経て「湖都」滋賀を貫くソウルトレインとなったのである。



- 1910●4月15日、天満橋～五条間で運転開始（①）
- 1913●宇治線（中書島～宇治）開通
- 1915●鴨川線（五条～三条）開通
- 1922●北大阪電気鉄道（現・阪急十三～千里山）の実権掌握
- 1925●京津電気軌道を合併、滋賀へ進出
- 1928●名古屋への延伸を計画し、名古屋急行電鉄として免許出願
- 1931●関西最初の地下線開通（西院～大宮）
- 1945●交野電鉄枚方線を譲り受け、交野線と改称
- 1961●奈良電鉄（現・近鉄京都線）争奪戦決着、近鉄へ
- 1963●淀屋橋延長線（淀屋橋～天満橋）が開通（②）
- 1989●鴨東線（三条～出町柳）開通
- 2008●中之島線（天満橋～中之島）開業（③）



アドバイザー
中野雅史さん
（京阪電車100周年担当）



京阪電車と大阪の

さらには和歌山や奈良、福井までに
んだ。大鉄道時代だった

戦

時体制下の鉄道再編により京阪は阪急と合併、一時は「京阪神急行電鉄」となる。戦後に再び分離する際、先述の新京阪線は阪急の線路になった。が、京阪は「本丸」を決してあきらめない。開業以来の悲願であった大阪都心への乗り入れである。

戦後復興や高度成長期の通勤人口増加を背景に、京阪は市と粘り強い交渉を続けた。上本町4丁目や森之宮への新ターミナル設置案を蹴られた末に浮上したのが、北浜を通って淀屋橋に至る案。いわば開業時の夢の復活だった。難工事を経て迎えた淀屋橋駅の竣工式は、53年前の開業と同じ4月15日。

まさに第二の創業というべき歴史的な日となった。社長は「先覚志茲成」と筆をふるい（現在、天満橋駅ホームに掲示）、社内報には「京阪男一匹」なる歌が載った。あの「王将」の替え歌だ。「どんな犠牲を払っても／淀屋橋まで出るという／初一念をつらぬいた／うちのおやじの心意気」

こうして新たな時代が始まった。

京

阪の沿線開発が大きく発展したのは高度成長期。住宅、商業施設、遊園地、それに企業や学校。郊外へ向け、さまざまな文化が花開いてい

100年。

大阪から京都、滋賀まで91・1kmを結ぶ京阪電車。その歴史の中で幾多のドラマが生まれ、沿線ではさまざまな文化が育まれてきた。主に大阪から見た京阪100年の歩みを振り返ってみよう。

取材文／松本 創（本誌）

「車両グレイドアップ」

ゆったりと座るロマンスカー。旅情と安眠を誘うこの車両は京阪が日本の私鉄で初導入。内外装とも高級感あふれていたせいか、初期の写真では、山高帽の紳士や口紅も鮮やかなご婦人が心なしかすまし顔である。京阪特急といえど誰もが思い浮かべるデザインが心なしかすまし顔である。京阪特急といえど誰もが思い浮かべるデザイン

- 1914 日本初の急行電車を運転開始
- 1924 2両連結運転の開始
- 1927 日本初のロマンスカーを導入 ①
- 1938 流線型ロマンスカー登場、3両連結運転開始
- 1954 関西初のテレビカー登場 ②
- 1957 日本初の空気バネ台車取付車両導入
- 1995 ダブルデッカー車登場



レビーカーは、テレビ普及以前に登場した関西初のサービス。ニュースや野球中継で、痛動のサラリーマンを癒してきたが、ケータイ視聴時代となり、残念ながら2011年度中の廃止が決定。振動を吸収する空気バネ台車をいち早く採用するなど、京阪の車両は乗客のホスピタリティ重視で進化してきたようだ。

「駅ビジネス」

ターミナル駅に商業施設を作り、乗客を誘導するのは鉄道ビジネスの常道。京阪の流通事業は天六で開店していた「新京阪マーケット」の流れをくんで、天満橋から始まった。その「京阪デパート」は日用品や雑貨・衣料品などを扱う、現在の総合スーパー的な性格の店。もう一つのターミナル京橋には「京阪スーパーマーケット」。日本で初めてスーパーを名乗った

店だが、実際は対面販売だった。本格的な百貨店は守口車庫跡地にオープンした「京阪百貨店」を皮切りに、枚方や樟葉へと拡大。80年代にはバブル景気による消費拡大も追い風になったが、高架下商店街の「エル」も沿線で開業ラッシュ。やはり天満橋から始まったホテル事業は近年になって沿線外へ大きく進出。昨年には札幌と浅草にオープンした。



- 1921 天満橋駅前に「天満橋京阪食堂」開設
- 1927 百貨店「新京阪マーケット」を天六に開業
- 1933 天満橋に「京阪デパート」開店 ③
- 1952 京橋に「京阪スーパーマーケット」開業 ④
- 1969 O.Mビル竣工
- 1970 京橋に「京阪ショッピングモール」開業
- 1979 ホテル京阪大阪が天満橋に開業
- 1985 守口市駅前に本格百貨店「京阪百貨店」開業 ⑤
- 1986 高架下店舗「エル」開業ラッシュ
- 1997 コンビニ1号店「アンズリー」が樟葉に開店
- 2000 けいはん・ジュースバーが淀屋橋に開店



った。詳しくは別稿に譲るとして、ノンフィクションライターの佐野真一が沿線文化の一端に触れた文章を紹介しておきたい。1957年（昭和32）、千林に出店したタイエー1号店を写真したルポからである。

「日本一の商店街」とも呼ばれたこの街は、陰陽道でいけば、大阪の中心の大阪城から見て東北すなわち丑寅の方角に当たり、万事に忌み嫌われる場所だった。／千林から京都寄りに五つ先に行ったところに、門真市という駅がある。門真市はいまでもなく、松下電器の本社が置かれていたところである。／戦後高度経済成長の二大シンボルの「消費」と「家電」が、いずれも関西の鬼門の方角から誕生したことは興味深い。（『新忘れられた日本人』毎日新聞社より）

大阪と京都という2つの古い都市を結びながら、その沿線に戦後日本を代表する企業が集まったように、京阪文化は因習や慣行を打ち破るパイオニア精神を静かに涵養してきたのだ、とみるのは強引に過ぎるだろうか。大阪市営モノロー主義や「鬼門」を克服し、さまざまな日本初・関西初の技術やサービスを提供し、さらには鉄道空白地帯だった中之島へ果敢に挑んだその足取りを見ると、そう思わずにいられない。

【住宅開発】

終戦まもなく香里園で売り出した住宅は、あつという間に完売。昭和30年代に入ると、沿線のバナソニックと連携した「テレビ付き住宅」、枚方公園のバラ園にちなんだ「バラ園付き住宅」なども登場した。大規模な宅地開発は、枚方と

- 1947 ● 香里園で不動産事業開始
- 1956 ● 御殿山で全戸テレビ付き住宅を分譲 ⑨
- 1957 ● 枚方公園で全戸バラ園付き住宅を分譲 ⑩
- 1968 ● くずはローズタウン分譲開始 ⑪
- 1974 ● びわ湖ローズタウン分譲開始
- 1977 ● 初のマンション「ローズマンション 藤の森」分譲
- 1992 ● 京阪東ローズタウン街びらき



八幡にまたがる5500戸の「くずはローズタウン」が最初。続いて、びわ湖ローズタウン（大津、京阪御蔵山 全売）、京阪東ローズタウン（京田辺、八幡 など。手掛けた宅地や物件の多くに「ローズ」の名が付くのは、「バラ色の暮らし」のメッセージか。最近ではタワーマンションも展開中。

【沿線レジャー】

京阪沿線のレジャー史は、ひらかたパークとともにある。ルーツは鉄道開業の年に香里で始まった菊人形展。現在、香里園の地名に「園」の字が付くのは、京阪が料亭や茶屋を誘致し、遊園地として整備した名残だ。菊人形展は3年目から会場を枚方へ移し、秋の名物行事となるが、

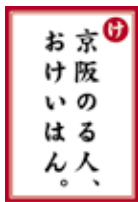


- 1910 ● 香里遊園地を建設し、菊人形展を開始
- 1912 ● 菊人形展の会場が枚方へ、ひらかたパークの原点となる ⑫
- 1929 ● 琵琶湖の遊覧船事業を掌握
- 1955 ● 枚方公園にバラ園完成
- 1957 ● 樟葉パブリック・ゴルフ・コース開設
- 1958 ● 比叡山ドライブウェイ開通
- 1960 ● ひらかたパークにモンキーランド開設、年中開園に
- 1964 ● 京都タワー竣工
- 1983 ● 大阪水上バス「アクアライナー」就航 ⑬
- 1996 ● ひらかたパークが大規模リニューアル

【イメージ戦略】

写真をふんだんに使い、随筆や俳句投稿も掲載した広報誌「京阪」。史跡案内を専門家が執筆したガイド本シリーズ「趣味の京阪叢書」。いずれも戦前に沿線文化を振り起こし、イメージを高めた出版物だった。広告の大ヒットといえば「おけいはん」。キャラクターを設定し、物語

- 1933 ● 月刊広報誌「京阪」創刊
- 1939 ● 「趣味の京阪叢書」刊行開始 ⑭
- 1976 ● 「くらしのなかの京阪」創刊
- 1996 ● 「ひらパー」大キャンペーン展開
- 2000 ● 「おけいはん」登場 ⑮



的に展開するイメージ広告には固定ファンも存在するほど。「けい子」の名を世襲するメインキャラの名字は、淀屋、京橋、森小路ときて、現在の桶葉で4代目。いずれも駅名などにちなむ。これ以前には、アイドルや有名女優を起用したキャンペーンも展開。今をときめく連舫センセイも、鴨東線開通後の洛北キャンペーン（1991年）に登場していた。

重要な役割を果たしました。

関西に私鉄が勃興した時代、鉄道の役割としては主に2つが想定されていました。大都市を結び人の流れを作る

こと、社寺参拝や観光の客を運ぶことです。京都・大阪の二大都市間に開通した京阪は、伏見から八軒家浜という舟運の大動脈に沿って走り、途中には伏見稲荷大社や石清水八幡宮のように大きな神社もあった。好条件の揃った「えへ社」だったわけです。

しかし条件に恵まれていたがゆえに、沿線に大規模な宅地を拓いたり、終点に集客施設を作って乗客を運ぶといった開発事業にやや出遅れた感はありません。同じ年に開業した阪急は、何もない田園地帯を郊外へ向かう路線だったため、早くから沿線に住宅を建て、月賦販売を始めます。鉄道を通すことで土地の価値を上げる、沿線に人を住まわせ安定的に乗客を確保する、ターミナルに百貨店や遊園地を作り沿線イメージを向上させる……という私鉄経営のモデルができていくんですね。

京阪沿線が本格的に発展するのは戦後のことです。門真には戦前にパナソニック、守口には戦後すぐ三洋電機ができ、関連の工場群も含めて一帯は大生産拠点となった。一方で、香里園や枚方公園、樟葉あたりは良好な住宅地として整備されていく。高度成長で大阪の人口が爆発的に増え、職場も家も郊外へと広がっていく時に、京阪は

「東西軸」活用の知恵を

さらに、京阪にとっても大阪の街にとっても大きかったのは淀屋橋への延伸。これが実現したおかげで、南北交通偏重の大阪市内に東西軸ができ、しかもそれが郊外と直結されました。大阪のメインストリートは古くは堺筋、昭和以降は御堂筋ですが、もし京阪が

京阪カラーの 現在・過去・未来

土井勉 神戸国際大学教授

京阪の沿線カラーはどう成立してきたのか。これからどんな方向を目指すべきか。京阪神の公共交通やまちづくり事情に詳しい土井勉先生に語ってもらった。

取材構成／松本創（本誌）

谷町筋の天満橋で留まっていたら、郊外から来た大量の乗客をせき止めてしまったでしょう。ビジネス街の北浜も、今とはずいぶん違う寂しい姿になっていたかもしれません。

中之島線は、その東西軸をさらに延長させた路線でしょうが、人の流れを作るといふ点では、まだまだこれから。せっかく新しい都市のストックを作っ

たわけですから、どう活用するか知恵を絞っていくべきだと思います。特に既存の路線と重なっていない渡辺橋や中之島が大事です。たとえば、なにわ橋の「アートエリアB1」で開かれていくようなイベントを中之島の駅でやってみてはどうでしょうか。

それと、これは京阪だけに限わる話ではありませんが、中之島の開発計画は巨大なオフィスビルやタワーマンシ

定期券の通勤通学者が減っていく中で、今後は観光や買い物、あるいは通院や友達と会うといった「昼間利用」かつ「自由目的」の乗客をつかむ必要がある。それには、会社や路線を越えたネットワークの強化がカギになります。たとえば、乗り継ぎのたびに発生する初乗り運賃を割り引く乗り継ぎ運賃制度、一定のゾーン内では運賃を均一にするゾーン運賃制度といった会社間での料金体系の共通化。ダイヤや乗り継ぎの分かりやすい情報提供。鉄道間ばかりでなく、鉄道とバス、あるいは自転車にしても同様です。

京都市は今、「歩くまち京都」を打ち出していますし、京阪三条駅付近ではレンタサイクルの社会実験が行われています。そういった取り組みとの連携が、とても大切になってくると思いますね。

ネットワークを強化せよ

少子高齢化やモータリゼーションが進み、鉄道はどこも厳しい環境です。



どいつとむ 京都市役所 阪急電鉄勤務を経て現職「転職で京阪神を制覇しました」と笑う。専門は、公共交通を軸にした都市政策論。京都市をはじめ、各地の自治体や交通機関で審議委員やアドバイザーを務めている。

トウミン月報

2010年9月1日発行

昨年、中之島を中心に行われ、190万人を動員した水都大阪2009。その成功を受けて、今年も「リバーバ大阪2010」(正式名称: 永都にきわい創出プロジェクト 2010 River!)が

**永都大阪
今年もやります!**

「リバー!」が開催される。10月1日(金)〜3日(日)まで開催される「水辺の学校を築く」では、エコ・自然・大阪の食などをテーマに著名人を招いた参加型イベントを展開。また同じ期間に開催される「水楽ステージ」は、

水辺を楽しむためのコンサートがステージ上で開かれる。10月30日(土)に行われる「みずウォーク2010」は、城北・淀川河川公園から中之島まであるウォーキングイベントで、水辺の自然にふれながら健康作りを楽しむことができる。さらに、元野球選手の前野英雄さん、赤星憲広さんによるトークイベントと野球教室なども行われる。イベント情報の詳細は水都大阪のホームページで。http://www.osaka-info.jp/suio/index.html (大迫力・本誌)



大阪を中心に、関西の優れたプロダクトデザインを集めるイベント「DESIGN優品関西」が、[中之島BANKS]で開催される。これは財団法人大阪府産業デザインセンターと大阪府産業デザインセンターが共催して行われるもの。関西圏から広く公募された中から選りすぐられたグッドデザインが、展示されるだけでなく、その場で購入したり、予約することが出来る。

今回集まるのは、包丁や和紙照明などの和のアイテムや、文房具、木の小物など12社約50品目。デザイナーや中小企

**関西選りすぐりの
デザインが集結!**

業が自社ブランドを立ち上げ、生活者向けに販売している日用雑貨。また家具作家・職人のこだわり商品など、私たちに身近なものばかりだ。これまで発信される機会の少なかつたものが揃うだけに、知らなかったお気に入りに出会えるかもしれない。(大迫力・本誌)



**DESIGN
優品関西**

DESIGN優品関西
日時/9月3日(金)〜4日(土)
10:00AM〜8:00PM
会場/中之島BANKS
EAST棟 2F-C
(京阪電車中之島駅直結)
入場無料
問い合わせ/
大阪府産業デザインセンター
☎06-6949-4791



**大阪の橋を
たづね
感じよう!**

大阪歴史博物館と大阪市建設局が開催する「大阪の橋を巡る冒険2010」は、大阪にあるたくさんの橋を見て、感じて感じるイベントだ。

大阪歴史博物館1階のエンランスホールにて行われるパネル展「大阪の橋」では、橋の変遷やライトアップについてわかりやすく紹介。また、親子見学ツアー「歴博×八軒家 専門家と巡る大阪の橋」では、大阪歴史博物館や大岡下水を見学した後、船に乗って大阪の街を周遊。専門家の解説を聞きながら、クルージングを楽しむ。



さらに9月23日(祝)に行われるシンポジウム「大阪の橋、近世から現代まで。そして未来」で

大阪の橋、近世から現代まで。そして未来
日時/9月23日(祝)
1:00PM〜4:30PM (受付0:30PM〜)
会場/大阪歴史博物館 4階講堂
登壇者/加藤晃規 (関西学院大学副学長)
嘉名光市 (大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻准教授)
八木滋 (大阪歴史博物館学芸員)
小松靖朋 (大阪市建設局道路部橋梁担当)
入場料/300円
定員/250名 (当日先着順)

ARTstream 2010

ピックアップアーティスト10人展 inサントリーミュージアム[天保山]

アートストリームは、平成15年にスタートした、関西最大級の若手アーティストの展覧会&アートマーケットであり、大阪の若手アーティストやクリエイターを発掘し、作品発表の場や出版社・美術関係者とのビジネスマッチングの場を提供してきました。今回、10回目を記念し、これまでにアワードを受賞した方から10名を選抜し、「ピックアップアーティスト10人展」を開催いたします。



舟田潤子
2004年アートストリームアワード
(大阪21世紀協会賞)受賞



中川貴雄
2005年アートストリームアワード
(大阪21世紀協会賞)受賞



H@L
2006年アートストリームアワード
(大阪21世紀協会賞、FM802賞)受賞



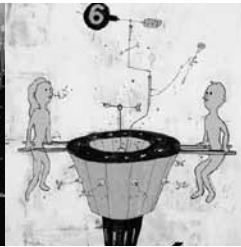
ヒラノシュキ
2007年アートストリームアワード
(大阪21世紀協会賞、
ヴィジョントラック賞)受賞



原 康浩
2007年アートストリームアワード
(ホルベイン賞)受賞



トヨクラケル
2003年アートストリームアワード
(10W Gallery賞)受賞
2008年アートストリームアワード
(大阪21世紀協会賞)受賞



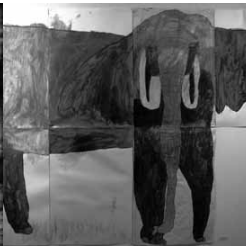
TALA
2008年アートストリームアワード
(サントリーミュージアム賞)受賞



鮫島ゆい
2008年アートストリームアワード
(ヴィジョントラック賞)受賞



窓
2009年アートストリームアワード
(大阪21世紀協会賞)受賞



ミロコマチコ
2009年アートストリームアワード
(サントリーミュージアム賞、
ヴィジョントラック賞)受賞

PICKUP ARTIST EXHIBITION in SUNTORY MUSEUM

入場
無料

日時:9/7(火)～9/20(月) 10:30AM～8:00PM ※9/13(月)は、休館日です

会場:サントリーミュージアム[天保山]2階ロビー

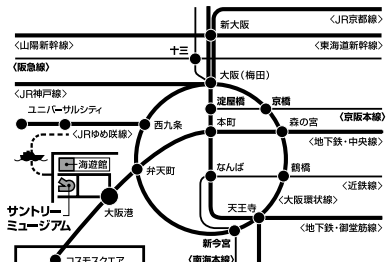
アーティスト交流会 9/17(金) 7:00PM～

会場:サントリーミュージアム[天保山]9階スカイラウンジ

トークショー:おかけんた(現代アートコレクター)＋アートストリーム参加アーティスト

ライブ:月の音楽隊

参加ご希望の方は、「アートストリーム2010交流会参加希望」の件名で氏名、携帯電話番号、携帯メールアドレス、参加人数を明記してメールで下記事務局にお申し込みください。先着100名様をご招待。ドリンク付き。招待通知(入場証)は携帯アドレスにメール返信させていただきます。アートストリーム事務局 ☎06-6341-8865 E-MAIL.artstream@n-a.jp



9/19(日)・9/20(月) ●出展アーティスト在館 ●サントリーミュージアムチャリティーバザール開催

主催:アートストリーム実行委員会(財団法人大阪21世紀協会、サントリーミュージアム[天保山]、大阪芸術大学、大阪府、大阪市)

後援:社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所

企画制作:株式会社ナゲット

問合せ:財団法人大阪21世紀協会 ☎06-6942-2004 FAX.06-6942-5945 <http://www.osaka21.or.jp>

祝1周年
新シリーズ
スタート!!



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懷徳堂
プロジェクト

2010年
10月講座

連続講座「大阪の歴史をやり直す」

①街場の学問 懷徳堂スーパースター列伝!

聞き手／釈 徹宗 (浄土真宗本願寺派住職) ゲスト／湯浅邦弘 (大阪大学大学院文学研究科教授)

おなじみ釈徹宗先生と一緒に、
大阪の歴史をやり直そう。

豊臣秀吉の大阪城築城に、蔵屋敷が並んだ「天下の台所」…大阪の歴史について知っているのはこのくらい、という人は多いはず。しかし、今までナカノシマ大学でも取り上げてきたように、これは大阪のほんのわずかな側面を見ているに過ぎない。そこで、ナカノシマ大学が新たにスタートさせるプロジェクトが、「大阪の歴史をやり直す」である。

あの鷲田清一氏や内田樹氏をして、「知らないことはない!」と言わしめる釈徹宗先生を聞き役に、毎回さまざまなジャンルの専門家をゲストに迎えて、大阪の知られざる歴史を解き明かしていく。第1回目のテーマは、街の学びの場を創り出してきたナカノシマ大学の1周年を祝うにふさわしく、江戸時代の学問所「懷徳堂」。個性的な学者たちが集った時代を、釈先生は「まるで奇跡のよう」と評する。懷徳堂が生んだスーパースターたちを中心に、まずは学問の街・大阪の様子を明らかにするところから、やり直しを始めよう。



第1回目は、
江戸時代の
天才町人学者の
正体に迫ります!



懷徳堂とは?

享保9年(1724)に大坂の有力町人たちが出資して設立した、町人のための教育機関。朱子学を中心とした学問や教育が行われたようだが、その実態はかなり自由で気楽な雰囲気だったらしい。

今回のやり直しサポーター 湯浅邦弘さん



1957年生まれ。2000年4月から大阪大学大学院文学研究科教授。専門は中国哲学、そして懷徳堂の研究。古代中国の処世訓の解説書『菜根譚』(中公新書)のほか、懷徳堂にまつわる著書も多い。

懷徳堂スーパースター列伝!

聞き手／釈 徹宗 ゲスト／湯浅邦弘
日時／10月29日(金) 7:00PM ~ (開場6:30PM ~)
会場／大阪大学中之島センター
定員／150名
入場料／1,500円
主催／ナカノシマ大学事務局
協力／大阪21世紀協会 大阪大学

募集要項

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学10月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は <http://www.nakanoshima-univ.com>

お問い合わせ ☎06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)



7月29日(火)

「奈良から見た大阪 ～平城京と難波京～」

@追手門学院大阪城スクエア 講師/千田 稔

知られざる関係性が明らかになっていく。千田先生によると、古くから主要な交通路として栄えた瀬戸内海の東端に位置する大阪には、難波津・難波御津など時代ごとに様々な名で呼ばれる港があった。飛鳥～白鳳～奈良時代にかけて、都は奈良にあるものの、海外の国と付き合うには当然港が必要で、自然と大阪は栄えた。だから「奈良の都がなければ今日の大阪はあり得ない」というわけだ。

では「聖武に捨てられた大阪」とはどういうことなのだろう？ 聖武天皇は724年に平城京にて即位した。けれども「このまま平城京にいては、藤原氏のあやつり人形になるのでこの場所を離れたい」と、天然痘の流行による藤原氏の勢力低下を見計らい、未だ建設途中

であった恭仁京へ遷都を試みる。しかし藤原氏の妨害もあり、恭仁京建設は難航。聖武天皇はとうとう大阪、つまり難波京へと遷都することを決意したのだ。だが、ついに大阪が都になろうという前日、仏教に篤い信仰心を抱く聖武天皇は、「やはり建立途上の大仏の近くにいたい」と心変わりし、結局、紫香楽宮へ行幸してしまう。

歴史に関して「たら・れば」はご法度だが、「ここで聖武が難波京を選んでいれば、今の大阪のありようも大きく変わっていただろう」というのが千田先生の所見。古代の大阪と奈良、港と都、天皇と藤原氏の関係から、奈良に育てられたという視点を持てば、いつもの大阪も違って見えてくるはずだ。

聖 武に捨てられた大阪、大阪の人は奈良に足を向けて寝られない…プロジェクトに映し出されたショッキングな文字と、斬新な切り口からの解説に、会場にどよめきと笑いが起こる。発言の主は本誌第23号に登場していただいた、日本古代史のエキスパート・千田稔先生。大阪城を眼前にしている大胆不敵な冒頭の言葉だったが、まるで1000年以上前の大阪と奈良を、実際に見てきたかのような講義が進むにつれ、だんだんとその理由が明かされていった。

日本書紀をはじめとする文献資料や地理学の成果を手がかりに、奈良と大阪の



ナカノシマ大学でもおなじみ、釈徹宗先生も来場。「奈良の北部はロゴス(言葉・理性)、南部はパトス(感情・情念)」といった風土の違いがあるように思う」とのご指摘も。手前は追手門学院大学の落合正行学長。

一万人の感動

最高の音響、照明でドラマチックな舞台を演出。
コンサート、スポーツ、コンベンションなど、
さまざまなイベントに対応するビッグなアリーナです。

財団法人大阪城ホール

〒540-0002 大阪市中央区大阪城3-1
TEL.06 (6941) 0345 HP・<http://www.osaka-johall.com>
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅下車徒歩3分
JR大阪環状線「大阪城公園」駅下車徒歩5分

研修会、講演会、展示会に、
コンベンションホール(150人収容)をご利用ください。



21世紀の懐徳堂プロジェクト 9月の時間割

ナカノシマ大学ほか、
中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで
独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。

10	金	7:30PM~ 9:00PM	「実践!タビエ流『目憶力』イタリアの旅」玉井恵里子 (インテリアデザイナー) 受講料:1,500円 会場A
11	土	10:30AM~ 00:00PM	「土曜の朝ヨガ」宮里祥子 参加費:2,500円 (特製ヨガランチ付) 会場G
		1:00PM~ 4:00PM	「スワンのコラージュブローチ」annas / かわばたあんな (刺繍作家) 参加費:4,200円 定員:5名 会場E
		5:00PM~ 7:00PM 終了後交流会あり	「奥村昭夫デザインワークショップ」奥村昭夫 (グラフィックデザイナー) 受講料:3,800円 会場B
12	日	11:00AM~ 2:00PM	ポーポー屋料理教室「オキナワ式健康食生活!」中東ゆうこ (ポーポー屋店主) 参加費:3,800円 会場G
14	火	7:00PM~ 8:30PM	「楽しむ紅茶」納多寿恵子 (ティーライフコーディネーター) 受講料:2,000円 (紅茶、お菓子付) 会場D
15	水	2:30PM~ 4:00PM	「宝塚・百合珈琲教室・上級編『焙煎』」百合千佳 (百合珈琲店主) 参加費:2,000円 会場G
19	日	10:15AM~ 1:15PM 2:00PM~ 5:00PM	「トリ・スクール『近代と日本』」岡山 拓 (美術家) 受講料:2,500円 (1ドリンク付) 会場F
25	土	11:00AM~ 00:30PM	「マクロビオティックサロン」豊村恵子 (料理研究家) 受講料:2,000円 (料理費込) 定員:10名 会場C
		2:00PM~ 3:30PM	「パッケージデザインの秘密を探るおはなし」三原美奈子 (パッケージデザイナー) 受講料:1,200円 会場C
		1:00PM~ 3:00PM	「健康講座~自分のカラダを自分で治す」合田光男 (国際東洋医療専任講師) 受講料:2,000円 会場D
28	火	7:30PM~ 9:00PM	「石原正一のヨミすぎ!~古今東西名作朗読会~」石原正一 (役者・作演出家) 受講料:1,500円 会場A

A common cafe ☎06-6371-1800 <http://www.talkin-about.com/cafe/>
 B 000 (オー) ☎06-6362-5150 <http://www.outoffice.jp/>
 C 中崎町サロン文化大学 <http://nakazakicho-u.blogspot.com/>
 D フレイムハウス ☎06-6226-0107 misalele39@gmail.com <http://www.katana.cx/~fureimu/>
 E タビエスタイル ☎06-4963-7450 <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~tapie/>
 F 欧風食堂 ミリバー ☎06-6531-7811 <http://www.artniks.jp/millibar/>
 G 鳥かごキッチン ☎06-6531-7827 ippuku-popo@rio.odn.ne.jp



レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、
京阪電車中之島線にわ橋駅地下1階の[アートエリアB1]。9月のラインナップはこんな感じ。

3	金	7:00PM~ 9:00PM	シアターカフェ「舞台芸術の行方#6」定員30名
8	水	7:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／哲学カフェ「身の周りのもののデザイン」定員50名
15	水	7:00PM~ 9:00PM	鉄道カフェ「鉄カフェをみんなで考える17」定員30名
24	金	7:00PM~ 9:00PM	お遍路カフェ「阪大授業でお遍路?菅さんもまったお遍路の魅力とコミュニケーション機能」定員30名
29	水	7:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／セミナー「TO PEG OR NOT TO PEG?」定員50名

会場／アートエリアB1 問い合わせ／[カフェの内容について]大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD) TEL 06-6850-6632
 参加費／すべて無料 [場所などについて]アートエリアB1 TEL 06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
 開場／それぞれ開始30分前から ※申し込みは不要ですが、当日先着順とさせていただきます(入退場自由)。※お客さま参加型のプログラムです。



大阪大学21世紀懷徳堂

●Handai-Asahi中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

11・18	土	10:30AM～ 00:00PM	「“からだ”と“あたま”の鍛え方～よりアクティブで質の高いライフスタイルを目指して～」 七五三木聡(大学院医学系研究科准教授) 受講料:3,150円(全2回)
17	金	1:30PM～ 3:00PM	「おもしろ日本語学～ことばと世相～」小矢野哲夫(大学院言語文化研究科教授 受講料:1,575円)

会場／大阪大学中之島センター 申し込み・問い合わせ／朝日カルチャーセンター(中之島) ☎06-6222-5224 <http://www.asahi-culture.co.jp/index.html>

●第42回大阪大学中之島講座「いまを読み解く—医療・都市—」 9～12月に全14講座を開講。9月は下記3講座です。

17	金	6:30PM～ 8:00PM	「個別化医療に向けた医薬品の適正使用」宇野公之(大学院薬学研究科教授)
22	水	6:30PM～ 8:00PM	「iPS細胞の医療応用、特に創薬分野への応用について」水口裕之(大学院薬学研究科教授)
24	金	6:30PM～ 8:00PM	「病気の予防と早期発見のための画像医学」畑澤順(大学院医学系研究科教授)

会場／大阪大学中之島センター 受講料・申込方法など詳細は、大阪大学21世紀懷徳堂 ☎06-6850-6443にお問い合わせください。 http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/nakanoshimakozu_h22でもご覧いただけます。

●大阪大学×大阪ガス アカデミッキング 大阪大学21世紀懷徳堂と大阪ガスクッキングスクール共催の講座です。

10/5	火	6:30PM～ 9:00PM	「ドクター石蔵の男のええ加減料理講座」石蔵文信(大学院医学系研究科准教授)
-------------	---	-------------------	---------------------------------------

会場／大阪ガスクッキングスクール千里 受講料／1,500円

申し込み・問い合わせ／大阪ガスクッキングスクール千里 ☎06-6871-8561 <http://www.og-cookingschool.com/>

私はもともと絵が好きだが、大学4回生の秋、強烈な体験をした。巨大なサメを担いで歩く漁師を描いた「海の幸」で有名な画家、青木繁との出会いである。

場所は釧路。そのとき私は、基礎医学の実習をサボって、3週間の北海道ミニ放浪に出ていた。夜、居酒屋に入ると、テレビでNHK特集の予告をしていた。青木繁を紹介する番組で、青木に扮した米倉斉加年が、浜辺で焼いた船釘をつかみ、雄叫びをあげながら戸板に焼き絵を描いている場面だった。横で愛人らしい女性が、それを不安げに見つめている。

この予告に、私は雷に打たれたような衝撃を受け、すぐさま泊まっていた安ホテルにもどって、ポータブルテレビの画面にかじりついた。

番組に描かれていた青木繁の生涯は、まさに衝撃的だった。自らの天才を信じ、愛人に子どもを産ませ、歴史に残る傑作を描きながら、自らは破滅の道へ突き進む。そして最期は、不遇のうちに、孤独と失意にまみれて、28年という短い生涯を閉じた。まさに当時の私がアコガれていた破滅的天才の生涯だった。

番組で特に気に入ったのは、愛人・福田たねに対する青木の「暴君」のような振る舞いだ。自分の芸術を理解するように迫り、妊娠した彼女の不安をよそに、ひたすら創作に没頭する。予告編で流れた焼き絵のシーンは、まさにこの青木の強烈な情熱を表していたのだ。

青木とたねの関係は、私には理想の男女関係のように思えた。男は志にすべてを捧げ、身勝手のかぎりを尽くし、女にありつたけの熱情を注ぐ。女は不安におののきながら、それを受け止める。今から思えば、なんとも子どもっぽい発想だが、私はそこに一抹の嗜虐的ロマンを感じていたのかもしれない。

翌年の秋、折しも京都で「近代日本美術の歩み展」というのがあり、私はそこではじめて「海の幸」の実物を見た。思ったよりも小さい。しかし、その迫力は圧倒的で、私は絵の前から動けなくなった。

特に画面中央、奥の列からこちらを見つめる白い顔に魅了された。これは福田たねをモデルにしたと言われるもので、不安に怯える表情は、明らかにほかの漁師たちとは異なる。タッチや色使いから、この顔があとで描き加えられたのは明らかだが、青木はなぜ、この不朽の名作に愛人の顔を描き入れたのか。

青木繁が残した肉筆の一筆一塗りを凝視しながら、私は食い入るように画布を見た。愛人を描いたのなら、青木自身もここに描かれているのではないか。そう思ってみると、中央手前の列の漁師が、一際しっかりと描かれている。全身に光を浴び、充足しきった表情で前を向いて

中之島ふらふら青春記⑩ 久坂部 羊

画家・青木繁の愛と狂気



いる。これこそ青木ではないのか。

漁師に模した青木とたねを見つめるうち、私は突如、天啓に撃たれるように、青木がこの絵に込めた「秘密」を発見した。青木とたねらしい漁師が、2人で1頭のサメを担いでいるのだ。一見、何でもなかったのだが、よく見ると明らかにおかしい。2列縦隊なのに、青木は手前、たねは奥にいて、サメを担ぐ2人が斜めの位置になっているのだ。

青木はこの絵をいったん完成させたあと、わざわざ不自然に獲物を担ぐ漁師を、自分と愛人に仕立て上げたにちがいない。サメは重い愛を表す。この絵はつまり、青木の愛の理想像を象徴した作品なのだ。それまで青木繁の評伝や画集は何冊も読んでいたが、このことを指摘した本はなかった。私は自らの「発見」に恍惚となり、2時間以上も絵を凝視し続けていた。

それから青木繁は、私の究極の愛の象徴となり、自分の恋愛にもそれを持ち込むようになった。つき合っていた女性に福田たねと同じ献身を求め、私を理解しないといつては激怒し、無茶を言いつつ精神的に追い詰めたりした。当然、彼女は苦しみ、泣き、疲れ、最後には怒った。それでも私は頑なさを変えず、自虐と嗜虐の間で、キモチよくのたうちまわった。

その後も私の青木繁熱は冷めることなく、青木の絵が見られると知ると、東京、福岡、広島、栃木などに駆けつけた。

「海の幸」が描かれた房州布良の海岸にも行った。東京美術学校を卒業した1904年、青木繁はたねを含む友人らとここを訪れ、そのときの見聞をもとにこの傑作を描いたのだ。

青木がたねを伴ったように、私も彼女を連れて行った。青木らが投宿した家が残っていたので、中を見せてもらった。NHKの番組で見た戸板の焼き絵を描いた円光寺も、すぐそばだったので、いっしょに訪ねた。私は青木の燃えるような情熱を熱く語ったが、彼女はただ漫然と聞くばかりだった。

私は栃木県芳賀町にある福田たねの生家も訪れた。青木が第二の傑作「わだつみのいるこの宮」を描いたとき、ここに滞在したからだ。

「海の幸」は各界で絶賛されたものの、出品された白馬会展では裸体画ということで特別室の展示となり、直接の収入には結びつかなかった。青木は生活に窮乏し、身重のたねを連れてあちこちを放浪した後、たねの郷里に身を寄せたのだった。

「わだつみのいるこの宮」は、青木が「海の幸」以上に強く持った作品で、これで一挙に画壇を制圧し、生活の安定も手にするはずの苦心作だった。しかし、満を持して出品した東京府勧業博覧会では、三等末席という屈辱的な結果に終わった。

芳賀町には、青木が「わだつみのいるこの宮」を描くために借りた豪農の家が現存していて、

私はその部屋を訪ね、青木が胸に抱いた自負と失望に思いを馳せた。青木がたね母子と永遠の別れをした五行川も見したが、だれもない田舎の川は、冷たい雨に濡れ、せわしく流れるばかりだった。

さらに私は青木繁の遺書にも感動していて、青木の生まれ故郷・久留米にも行った。青木は不遇のうちに郷里にもどったあと、痛切な遺書を書いてこの地で非業の最期を遂げたのだ。

遺書の一節にはこうある。

「当地にて焼き残りたる骨灰は序の節高良山の奥のケシケシ山の松樹の根に埋めて被下度、小生は彼の山のさみしき頂より思い出多き筑紫平野を眺めて、此世の怨恨と憤懣と呪詛とを捨てて静かに永遠の平安なる眠りに就く可候」とてつもない才能を秘めながら、猛り狂う自負を御しきれず、志半ばで病魔に斃れた青木の不運不幸を思うと、私は今もいたたまれない思いに駆られる。遺書中にあるケシケシ山には、青木繁の記念碑があり、私は夕暮れ時にその場に佇み、筑紫平野の静かな眺めに、哀切の気持ちを抑えることができなかった。

青木繁についてはまだまだ書きたいことはあるが、紙幅が尽きた。最後に、私が「暴君」として振る舞った女性がどうなったかを書いておこう。彼女はその後変貌して、今は「女帝」として、我が家に君臨している。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。

麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃肉身』（幻冬舎文庫）でデビュー。

現代医療への提言と生きること・死ぬることについて考える

契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。

「長野県東御市の梅野記念絵画館に、青木繁が『海の幸』を制作中に、友人に送った長い絵手紙が保存されていると知り、先月、見に行ってきました。

墨跡鮮やかな文面に感動。私の“青木熱”はまだ重度のようです」

大阪・兵庫・奈良・和歌山の大学・研究機関が知力を結集したリレー講座 公開講座フェスタ2010 受講生募集中



素敵な学びの出会い、夢は未来へと翔る

大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の33の大学・研究機関で構成している「阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット（HSNネット）」では、平成10年度から「公開講座フェスタ」を開催しており、今年で13回目を迎えました。

今年は、『新たな一歩 ～関西から世界を知る～』を総合テーマとし、二つの特別講演を含む、全30講座を開催いたします。詳しくは大阪府文化課のホームページをご覧ください。皆様のご参加を心からお待ちしております。

今年の特別講演

I 11月1日(月) 6:30PM～8:00PM 「足元から世界へ —映画表現を通して今、想うこと—」

河瀬直美(映画作家)

奈良から発信した第1回なら国際映画祭を経て感じたこと、命が生まれる—その神秘の世界を見つめた新作ドキュメンタリー『玄牝—げんぴん—』についてお話しします。



II 11月2日(火) 6:30PM～8:00PM 「小惑星探査機『はやぶさ』 7年の旅を振り返る」

飯山青海(大阪市立科学館学芸員)

2010年6月に地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」。はやぶさプロジェクトの全体像を振り返りながら、小惑星をはじめとした太陽系科学の進展と、これからの研究の展望をご紹介します。



©「はやぶさ」大型映像制作委員会

11月1日(月)～11月20日(土) 開催場所/さいかくホール(大阪府新別館北館1階)

募集定員/各講座150名(先着順) 受講料/各講座500円

事務局/大阪府府民文化振興局都市魅力創造局文化課

●各講座の詳細は(大阪府文化課HP)

<http://www.pref.osaka.jp/bunka/news/festa.html>



お申し込み方法

●はがき はがきに、住所・氏名(ふりがな)・電話番号と希望講座番号(複数申込可)を記入の上、下記までお送りください。ただし1枚のはがきにつき、1名の申し込みです。

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 府民お問合せセンター「公開講座フェスタ2010」係

●ファックス はがきと同じ必要事項を記入の上、上記「公開講座フェスタ2010」係までお送りください。FAX.06-6910-8005

●インターネット 大阪府文化課のホームページよりお申し込み下さい。 <http://www.pref.osaka.jp/bunka/news/festa.html>
お問合せ/府民お問合せセンター「公開講座フェスタ2010」係 ☎#8001または☎06-6910-8001(平日9:00AM～6:00PM)

大阪市中央区大手前3-1-43

●地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」

駅下車、1-A出口方面へ約200m

●京阪電鉄「天満橋」駅下車、谷町筋を南へ約700m

公開講座フェスタ2010 参加大学・機関(28機関/順不同)

大阪音楽大学/大阪芸術大学/大阪信愛学院短期大学/大阪府立大学/関西大学/神戸学院大学/四天王寺大学/園田学園女子大学/大阪大学・適塾記念会/帝塚山大学/帝塚山大学考古学研究所・附属博物館/天理大学/奈良大学/桃山学院大学/追手門学院大学/大阪国際大学/大阪産業大学/大阪樟蔭女子大学/大阪樟蔭女子大学地域文化センター/大阪観光大学/大阪大谷大学/鳳川学院短期大学/梅花女子大学/阪南大学/帝塚山学院大学/放送大学/畿央大学/大阪経済法科大学/※(財) 懐徳堂記念会/※関西大学東西学術研究所(泊園記念会)/※(社) 心学明誠舎/※高野山大学/※(財) 大阪市教育振興公社(大阪市立生涯学習センター) ※の機関は、今年度は不参加



ナカノシマ大学をはじめ、「学びの場」情報も加わり、中之島から大阪へと拡大しつつある『月刊島民』。「遠方に住んでいてなかなか手に入れない」「先月はうっかり取り損ねてしまって…」ファンの方のそんな声に答えるべく、昨年末から試験的に定期購読を行っていましたが、今年春からは本格的にスタートしています。毎月、確実に読みたい方はぜひお申し込み下さい。

●料金

6ヶ月／1,800円（2010年10月号～2011年3月号）

※料金には送料・手数料を含みます。

※9月24日（金）までにお申し込みいただくようお願いいたします。

●お申し込み方法

1.郵便振替 口座番号：00990-5-299267

2.現金書留 料金を同封し下記の宛先までお送り下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4F

月刊島民プレス（株式会社140B内）宛

◎ご入金を確認した時点で、ご連絡を差し上げます。

郵便振替の場合、手続きに2週間前後かかりますので、ご注意ください。

※諸事情により、到着が2～3日遅れる場合があります。予めご容赦下さい。

※原則として、途中解約は受け付けておりません。

※ご記入いただいた個人情報（冊子・サービス）

お届けするためだけに利用し、その目的以外での利用はいたしません。

●お問い合わせ 月刊島民プレス 定期購読係 ☎06-4799-1340

9月限定メニュー

イチジクのティアン

ヘーゼルナッツのサブレ生地の上に、生クリームとイチジクのジャム、そして新鮮なイチジクをたっぷりのせました。仕上げに添えるのはカシスのソース。イチジクの華やかな香りと、カシスの甘酸っぱいが上品に溶け合うデザートです。

¥1,400円（税込・サ別）

※コースに組み込むこともできます。

●日曜の夜はワイン祭り

毎週日曜日のディナータイムに、10,000円以上のボトルワインを50%OFFにてご提供しております。日曜の夜は、ワインを存分にお楽しみくださいませ！

ル・コントワール・ド・ブノワ

大阪市北区梅田2-4-9

ブリーゼブリーゼ33F

☎06-6345-4388

<http://www.comptoirbenoit-osaka.com/>

ランチ11:00AM～2:30PM（L.O）

カフェ2:30PM～4:00PM（L.O）

ディナー5:00PM～9:30PM（L.O）

不定休



料理とは、
素材そのものを
感じること。

LE COMPTOIR
de
BENOIT
OSAKA

高架の出口と 地上の出口、 「駅前」もまた 少しずつ違う。

日中は快速特急と特急以外すべて停まる京阪守口市駅。高架駅のホームから見る風景は、典型的な近郊都市のメイン駅のそれで、目の高さには大手都市銀行のサインが上がつているターミナルビルやシティホテル、チェーン店



の入った飲食ビル、市民体育館などの
市営施設が見える。

けれどもその守口市駅を地上に降り
北側に出ると、一風変わった風景が目
に入ってくる。T S U T A Y Aを背に
してちやうど向かい側の見上げる位置
に本町橋がかかっているのだ。橋とい
つても川にかかる橋ではない。この橋
は一段高い地勢になる「文祿堤」が通
る橋で、その文祿堤こそが京街道とそ
こに開かれた守口宿の名残である。

本町橋たもとの小さな石段を上がつ
て京街道に入る。高層マンションを越
えると駅前ターミナルの光景が一変。
連子格子に虫籠窓、うだつのある町家
……。典型的な江戸時代の街道筋の風情
だ。まるで歴史の地層が造り上げた街
の裂け目のような気がする。この京街
道の通る文祿堤は、市教育委員会とク
レジットされた案内板にこう記されて
いる。

「この堤は、豊臣秀吉が伏見城と大
坂城を結ぶ最短距離の道として文祿5
年（1596）に毛利輝元・小早川隆
景・吉川広家の三家に命じて淀川左岸
の堤防を改修・整備したもので、のち
に、東海道守口宿の一部が築かれまし
た。堤防上の道は、京へ向かうときは
京街道、大坂へ向かうときは大坂街道
と呼ばれました。」

そこに残る街道筋の風情を残す
建物。そのまま飲食店や写真館などの

中之島からゆく
駅前オーライ!
第6回

守口市

文／江 弘毅(本誌) 絵／網本武雄(本誌)

店舗に使われている町家を見ながら、
ちやうど自家用車上台が通る幅の京街
道を道なりにずっと歩くと、右手に細
くてなだらかな坂の石畳がある。その
入口に小さな石碑の道しるべがあり、
「右なら のさ(ぎょ) きみち」と刻
まれている。帰って調べるとこの石
畳の坂は「来迎坂」という名前だった。
野崎観音、旧奈良街道に通じる街道で、
この京街道よりさらに古い。守口宿が
開かれる以前からの守口市では最も古
い街道とのこと。

さらに「京へ」とどんどん歩いてい
くと下り坂。なだらかなカーブを描く
むくり屋根、黒壁に虫籠窓、その窓の
間には鍾馗さんが鎮座している典型的
な街道筋の町家の軒先に地蔵盆や祭の
提灯がぶら下がっている。「かさとし
ちゃん 川東傘ちようちん店」の看板で
それとわかる。

国道1号線と交わる八島交差点をい
かにも旧い板塀の家屋、白壁の蔵に誘
われるように(ちなみに大塩平八郎ゆ
かりの大塩書院があった白井家 右へ
曲がると難宗寺。守口宿本陣はこのあ
たりだった。「すく守口街道」「すく京」
「左京」「右大」と刻まれた石の道しる
べ、「御行在所」「御仮泊所」との標石。
東海道五十三次は、この京街道の伏
見宿、淀宿、枚方宿そして守口宿を加
えて五十七次であり、大坂の高麗橋で
終点を迎える。

ついに輝き始めた、 中之島一番のお洒落橋。

大正4年（1915）に完成した難波橋は中之島でも抜群に「オトナ美人」な橋だと思ふ。中央公会堂の熱い視線を受け、きらびやかな装飾が施された橋の入口では、堂々とした4体のライオン像がボディガードのごとく大正時代からずっとこの橋を守り続けている。

橋の上に高くそびえる4本の橋頭堡（左写真）もお洒落だ。橋頭堡とは元々は橋を守る軍事的な砦として築かれるのだが、ここではアクセントとして取り入れられ、橋をシャープに洗練された表情へと演出している。そしてバラ園へ降りて行くポイントとなる石造りの踊り場。ここからはバラ園全体を見渡せ、同時にステージのようにバラ園からの視線を集めるようにできていて、ウェディングやファッションショーなどに使えるような佇まいだ。難波橋は交通の要所としての重要性はもちろんのこと、デザインもこだわり抜かれたお洒落な橋として市民が好きな橋でも首位に輝いている。

そんな美人な難波橋がこれまで夜の「メイク」をしていなかったという意外な事実はあまり知られていない。ほんの昨年までは実は難波橋は全くライトアップがされていなかったのだ。この橋の構造上、照明が取り付けにくかったからだという。昭和50年に橋脚のア



ーチ部分が基壇部分を除き石造りから鉄製に変えられたのだが、橋桁を照らすのは立地的にも技術的にも管理的にも難しく、これまでなかなか実現に至らなかった。

自分よりも若い橋が夜にデビューしていくのを横目に、内心はがゆい思いをしてきた難波橋だったが、ついに昨



年の水都大阪2009をきっかけに華々しく光をまとった。難波橋のライトアップには「歴史と今の交差点」というコンセプトが掲げられ、大正時代のたたずまいを残す大阪の歴史性と、水都大阪の再生という現代や未来を対比的に象徴する演出がほどこされている。石造の橋桁の側面は素材に合わせた柔らかい光で古くからの橋の重厚感を演出し、橋頭堡の部分も橋の外側に設置された光源から暖かい光で照らされる。鉄製のアーチの内部には7本の桁が走っているが、その桁の一本ずつにLEDの光源が仕込まれており、ラインに沿って発光しながら「光のトンネル」を作っている。

中之島へ光を見に行く。
vol.4

難波橋

取材・文/花村周寛
(ランドスケープデザイナー)

取材協力/大阪市建設局
大阪・光のまちづくり企画推進委員会
関西電力株式会社

今月の スポットライト!

橋から10mほど離れた場所に設置された橋頭堡に向けてられたライト。石の白さと質感を強調する光の色であるため、橋桁のグリーンや青色のLEDが目立つ仕掛け。こちらにもお洒落な装飾が。



ゆっくりと5色にグラデーションしながら光る難波橋は、あいまいで意味深な表情を川へ投げかけているようだ。これまでずっと地上を見つめていた難波橋は、今度は川が気になるようで、大人の魅力で川を誘惑しようとしているのではないか。そんな想像をかきたてられる。

今月の テーマ【先生】

学びの場である中之島には、いろんな「先生」がいる。
生徒から注目される先生たちは、見た目にもやはり気を使っている様子。
取材・文／大迫 力（本誌）



審査員／大平秀峰さん
[NAKAGAWA1948 尼崎店] 店長

淀屋橋・西梅田の両店舗にておなじみの島民御用達テラー。
その絶妙な採寸テクニックから“ゴッドハンド”の異名を持つ
大平店長は、今春再オープンした尼崎店へ。アマからシマを
見つめる。http://www.nakagawa1948.co.jp/main.html



「ドレスに慣れて、
ダンスを始めました」

大江潤子さん
[スターダンススクール]オーナー

生徒さんに教えるほか、スタッフをコーチして大会に送り出したり、コン
クルの審査員をしています。社交ダンスは、お姫様のようなドレスに憧れて、
大学卒業後に北浜でOLをしながら始めたのがきっかけ。ドレスにはこだわ
りますね。青色が好きなので、自然とお気に入りのドレスは青系が多いです。

いやあ、もうご自分のことをよく分かっていらっしゃる。日本人の女
性がきれいに見える一番のポイントは、首をどれだけ長く見せられる
かなのですが、Vゾーン強めのニットに、ショートヘアーでばっちりですね。
七分丈だからリーチも長く見えます。黒のパンツに黒を合わせるのではなく、
パープルを持ってくるところもお見事です！

「笑顔や髪型にも
気を使っているんです」



浜口大介さん
[西梅田小林整骨院]院長

みんなに肩こりや腰痛から解放されて幸
せになって欲しくて、先生方を集めて講習も
しています。普段着では一味違う服装に気
をつけていますが、仕事ではなかなか。でも
清潔感のある服装や髪型、笑顔や挨拶には
気をつけています！



日焼けした肌の色といい、髪の色と
いい、ボクには確実にないがっちり
感・爽やか感・清潔感がありますね。そりゃ
あ女性にうけるんだろなあ。ボクはもう嫉
妬のツボを押されまくりですよ。

高島幸次さん
大阪大学招聘教授／
大阪天満宮文化研究所研究員

自分で言うのも何なんですが、若いときは
研究熱心だったんですよ。今は面白い生き
方を意識してるかな。今日はラフな格好だ
けど、講演をする時はもちろんスーツ。でも、
研究をしたり、本に没頭するときは楽な格
好が多いですね。



オン・オフの違いをはっきりされてい
るということですね。この抜き方は
とても良いと思います。昔のアメリカン・ト
ラッドの崩し方ですね。良い大人のこだわ
りが見える感じがしますね。

「本を読むときは
ラフな服装が多いですね」



「やはりスーツが多い。
動きやすいのも重要です」



北村 真さん
[真成法律事務所]弁護士

約20年、西天満界隈で弁護士をしています。
やっぱり仕事柄、スーツを着ることがほと
んどです。事務所にいるだけでなく、裁
判所やクライアントさんのところなど外に出
ることも多いので、動きやすいことも重要で
すね。



小物は茶系でまとめ、シャツ・ネクタ
イも良い生地のもを着ておられま
すが、欲を言えばもう少し冒険心が欲しい。
ジャケットは着ていただきたいなあ。任せて
もらえれば良い弁護（お見立て）しますよ！

大

阪俱樂部という特異空間に身を
おいてほぼ1年。今でも俱樂部
へ向かう日は朝から緊張している。筆
者は47歳だがこの大阪俱樂部というコ
ミュニティでは年齢的にはひよ子にも
まだなっていない。50歳でひよつこ
60歳でフツのコードモ、70歳がやつと
こさ大人で、80歳で立派な大人となる
のである。

「八十路会」というのがあって、文
字通り八十歳にならないと参加できな
い。さぞお爺さんだけの、元氣のない
集まりかと思いきや、いやいや健康的
に活発な活動を毎月やっている。大阪
の盛衰を生き抜いて来た立派な大人
たちはみな饒舌だ。サロンで少し話し
ても「J Rに〇〇駅ってあるやろ。あ
れ昔あの一帯が全部ワシの家やったか
ら、〇〇って言うんや！」ととんだ
もないお話に、「大阪俱樂部の方なら
さもありなん」とびっくりしていると、
「うそで、そんなワケないやん！」
と肩透かしを食らう。

まさに冗談と現実の狭間を悠々自
適に行き来するのが、この俱樂部では
立派な大人の嗜みなのかもしれない。
重厚な名建築は、長い長い時代の
流れの中でこうした冗談と現実の間を

Will you join us? 中之島に「入会」しませんか?

取材・文／石原 卓（本誌）



「立派な大人」になる条件。

大阪俱樂部×ナカノシマ大学 文化講演会「落語 にし・ひがし」

講演／恩田雅和（天満天神繁昌亭支配人）
落語／笑福亭三喬 笑福亭喬介
日時／9月16日（木）
6:30PM～8:30PM（開場6:00PM）
8:30PM～9:00PM（館内見学）
会場／大阪俱樂部 4階ホール
定員／200名 入場料／1,000円
主催／大阪俱樂部 協力／ナカノシマ大学

◎お申し込みはナカノシマ大学ホームページが便利です。
<http://www.nakanoshima-univ.com/>
ファックス・ハガキの方は、P10に書かれた宛先に
「落語 にし・ひがし」受付係と書いてお申し込み下さい。

するすると行き来する大阪エスタブリ
ッシュメントたちを見続けて来たのだ
ろう。

基 本的にメンバーのみにしか入館
を許されていない大阪俱樂部が、
広く大阪市民を受け入れて講演会を開
催することが決まった。もちろん当島
民編集部やナカノシマ大学も全面的に
ご協力。東西の落語を主題に、普通で
は聴けない興味深い講演会になりそう
だ。大阪俱樂部メンバー以外でも、申
し込みにより広く募集をしている。シ
マの異空間、大阪俱樂部を堪能できる
またとない機会、隣に座った立派な
大人があなたを冗談で楽しませてく
れるかもしれない。

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

京阪電車関連：京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋
書店：ブックファースト梅田店／旭屋書店 本店／旭屋書店 梅田地下街店／旭屋書店 堂島地下街店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店 淀屋橋店／福家書店 淀屋橋店／天牛書店 大津橋店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店 天満橋店／紀伊國屋書店 京橋店／隆祥館書店／なんば書店カルチャーコーナー
公共施設・大学関連施設ほか：大阪市中央公会堂／府立中之島図書館／大阪市役所市民情報プラザ／大阪市立中央図書館／大阪歴史博物館／大阪城天守閣／大阪狭山市立図書館／奈良県立図書情報館／大阪国際会議場／市立住まい情報センター／大阪商工会議所／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪企業家ミュージアム／味の素 食のライブラリー／朝日カルチャーセンター／大阪大学中之島センター／大阪大学本部／大阪大学21世紀記念館／摂南大学地域連携センター／慶應大阪リバーサイドキャンパス／追手門学院 大阪城スクエア／追手門学院 大手前センター／関西学院大学大阪梅田キャンパス／専門学校中之島美術学院／大阪工業技術専門学校／ろうきんギャラリー心斎橋／大阪倶楽部／中央電気倶楽部／芝川ビル／N4タワーマンションパビリオン／ホテルNCB／ABC朝日放送／大阪フィルハーモニー会館
店舗・医院など：江戸前鰻料理 志津可／ラ・クッカーニャ／アリアスカ マーブルトレ MANGUEIRA／Girond's JR／じろう亭／ミニジロー／黒門さかえ／花かつ／ティーハウスムジカ／MJB 珈琲／平岡珈琲店／喫茶SAWA／アンドール本町本店／あじさい／Cabo Bookshop and café／EXPO CAFE／喫茶カンターロ／BAR THE TIME 天神／タバーン・シンボソン／バスターレー／LES LESTON／大西洋服店／上町貸自転車／ザ・メロディ／カセッタ／セブイレブン大阪証券取引所店／吉田理容所／たまがわ鍼灸整骨院／宮崎歯科／心斎橋山田兄弟歯科／東郷歯科医院／ネイルサロンスワンナ

バックナンバーお譲りします。

2008年8月に創刊した『月刊島民』。大きな支持をいただいていることは、「バックナンバーありませんか？」と月刊島民プレスを訪ねてくる方々の多さからも伝わってきます。さて、そのバックナンバーにつきまして、1冊につき100円をいただくこととなりました。号を重ねていくうちに保管用のスペースが必要となり、そのための維持管理費を負担していただく形です。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。お問い合わせは下記の電話番号まで。

次号予告

懐徳堂って、すごいのか？

江戸時代、大坂の町人たちが私財を持ち寄って建てた懐徳堂。今なお語り継がれるそのすごさは、「街場で学ぶ」を地実践した、先人たちの様子をご紹介します。

●『月刊島民』vol.27は2010年10月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅 (編集集団140B)

編集・発行／月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄 (株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 大迫 力 (編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行／堀西 賢 (ALEGRESOL)

デザイン／山崎慎太郎

表紙イラスト／奈路道程

印刷／佐川印刷株式会社

龍馬さま、そのまなざしが見つめたのは
どんな未来だったのですか。

楠葉けい子(女子生)
霊山歴史館

さあ、いくぜよ!



おけいはんの(新)発見

おけいはん、龍馬に迫る!



時を超えて、
面影を追いかけて。
京阪電車で龍馬めぐり。

【伏見】

月桂冠大倉記念館 十石舟

長建寺 寺田屋 竜馬通り商店街
薩摩島津伏見屋敷跡

【東山】

京大和 明保野亭 霊山歴史館

京都霊山護国神社

坂本龍馬中岡慎太郎像

【洛中】

坂本龍馬中岡慎太郎遭難之地

酢屋 長州屋敷址

池田屋騒動之址

武市瑞山寓居之跡

【大阪】

八軒家浜船着場 大阪城

土佐稲荷神社

【天津】

三井寺 菱屋町商店街

京阪沿線

坂本龍馬をめぐる旅

スタンブラリー

龍馬ゆかりの地にある京阪電車の5駅(天神橋駅、
中書島駅、丹波橋駅、祇園四条駅、
三条駅)のなかから、3駅以上の
スタンプを集めた方にのみ、
平成の京阪大鳥瞰図小屏風
をプレゼント!



スタンブラリー全5駅達成
の方に抽選で、龍馬ゆかりの
賞品をプレゼント!

おけいはん

龍馬めぐりの情報は
おけいはん 検索
www.okeihan.net

